

進化認知科学研究センターシンポジウム「こころ と まね」

日時：2018年2月19日 10:00-12:30

場所：東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE(WEST) レクチャーホール

参加費：無料

ポスター：<http://ecs.c.u-tokyo.ac.jp/activity/symposium/FY2017/Feb19.pdf>

柳原 真 (東京大学 大学院総合文化研究科)

「小鳥のさえずりから探る学習の神経基盤」

岸山 健 (東京大学 大学院総合文化研究科)

「人間が持つ見えない文解析器を見るために」

山本 絵里子 (東京大学 大学院総合文化研究科)

「なぜ、赤ちゃんは踊るのか？」

乳児における模倣行動と動作記憶の関連性の検討」

「人間行動科学研究拠点立ち上げシンポジウム」

日時：2018年2月19日 13:30-17:30

場所：東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE(WEST) レクチャーホール

参加費：無料

詳細は http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/events/events_z0109_00106.html をご覧ください。

13:30-13:35 開会のあいさつ 飯野雄一 教授

13:35-14:05 「信号進化の社会的要因：鳥の歌を題材として」

岡ノ谷一夫 教授

14:05-14:35 「味覚認知と摂食制御の神経基盤について」

中村優子 特任助教

14:35-15:05 「思春期発達の脳科学・精神医学の立場から」

笠井清登 教授

15:05-15:15 休憩

15:15-15:45 「モラルの基盤を考える：実験社会科学からのアプローチ」

亀田達也 教授

15:45-16:15 「基礎生物学研究から心の脳神経基盤を解き明かす」

榎本和生 教授

16:15-16:25 休憩

16:25-16:55 「複雑系数理モデル学とその人間行動科学への応用」

合原一幸 教授

16:55-17:25 総合討論

17:25-17:30 閉会のあいさつ 長谷川寿一 教授

<懇談会>

時間： 18:00-

場所： 東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE(WEST) MMホール

参加費： 無料

申込： 右URLから <https://goo.gl/forms/SNxiSs9CPM4Uf42k2>

締切： 2月10日まで